

第33回日本バラスポーツ学会・一般演題発表順序

2025年1月25日(土) 茨城県立医療大学・中講義室112

時間		座長	発表順	氏名	所属	演題名
14:30-15:40	一般演題発表①	牛来 千穂子 (茨城県立医療大学)	1	チョン キョンス	和歌山県立医科大学	筋力運動強度に対する医療従事者と脊髄損傷者の観点とKnowledge translationの関係
			2	吉田 法誠	愛仁会リハビリテーション病院リハ技術部	リハビリテーション病院退院後、頸髄損傷者のスポーツ参加の現状調査-自宅近隣環境の評価に着目して-
			3	内藤 要	医療法人社団村上整形外科クリニック	滋賀県ポッチャ選手の競技特性不安に対する質問紙調査
			4	石垣 喜人	日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科	脳性麻痺者のスポーツ実施の促進および阻害要因に関する研究
			5	前田 凌汰	和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所	デフアスリートに対する心理サポートの事例～内的変化に着目して～
			6	古田 雅拓	筑波大学附属病院リハビリテーション部	バラスポーツのインクルージョンに関する意識調査-自転車競技のトップ審判員に着目して-
			7	後藤 賢二	和歌山県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所	多種目のパラアスリートコーチングからみた競技特異性と一般性-FTEMモデルをもとにした考察-
15:50-16:30	一般演題発表②	清水 如代 (筑波大学)	1	小濱 友恵	大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所	ポッチャBC3選手のポインターに関する現状調査
			2	三井 利仁	日本福祉大学スポーツ科学部	パラ陸上競技用車椅子レーサーの力学計測ローラー台の開発
			3	中村 耕太	株式会社RDS	駆動パフォーマンスを最大化する車椅子レーサーの開発
			4	清水 如代	筑波大学医学医療系リハビリテーション医学	起立支援機器Qoloの開発：パラアスリートへの起立動作訓練まで

2025年1月26日(日) 茨城県立医療大学・中講義室112

時間		氏名	発表順	氏名	所属	演題名
9:40-10:40	一般演題発表③	羽田 康司 (筑波大学)	1	谷口 直也	医療法人唱和会明野中央病院	全国障がい者スポーツ大会におけるメディカルチェックの状況について
			2	馬淵 博行	京都トレーニングセンター	基礎体力測定から見出した種目転向の一例
			3	奥迫 大陽	愛知学院大学	車いすアスリートの異なるアルゴリズムを用いたBIA機器で測定した体脂肪率の検討
			4	平田 昂大	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター	デフアスリートにおける脳振盪の経験と認識に関する実態調査
			5	彦坂 幹斗	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	車椅子ラグビーにおける車椅子駆動動作および脳・神経機能の評価
			6	下田 武良	国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科	Charcot-Marie-Tooth病を有するウィルチェアラグビー選手の2年間にわたる身体機能およびパフォーマンスの変化
10:50-11:50	一般演題発表④	六崎 裕高 (茨城県立医療大学)	1	清水 怜有	ハイパフォーマンススポーツセンター/国立スポーツ科学センター	超音波画像診断装置を用いた車いすバスケットボール選手の肩関節周囲の腱厚や関節裂隙距離の調査
			2	唯根 弘	茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科	車いすバスケットボール選手における選位機尺関節不安定性と手機能の経時的変化
			3	伊藤 倫之	愛知学院大学健康科学部	神戸世界パラ陸上競技選手権大会における投擲種目の参加者
			4	横田 聡	神戸アイセンター病院	ブラインドテニスにおける視覚クラス分け
			5	指宿 立	明野中央病院	クラス分け規則と意図不実表示に対するパラアスリートの理解と意識調査
			6	橋 香織	茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科	パリ2024パラリンピック車いすバスケットボール競技における上肢障害を有する選手の参加状況
13:40-14:50	一般演題発表⑤	岩井 浩一 (茨城県立医療大学)	1	野村 潤	福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター	骨肉腫を発症し化学療法を行いながらスポーツ参加をした一症例
			2	松田 靖史	川村義肢株式会社	新しい体育と文化芸術の融合“パラブレイキン”の取り組み
			3	鳥居 昭久	東京保健医療専門職大学	スポーツを実施している障害児の親の期待度について
			4	松尾 洋平	福島県総合療育センター整形外科	特別支援学校(肢体不自由)卒業生のスポーツ実施
			5	兒玉 友	日本福祉大学	地域でのパラ陸上競技振興に向けたバラスポーツリソース調査
			6	沖野 敦郎	有限会社アイムス	義足ユーザーを対象としたランニング教室の報告
			7	齋藤 拓	有限会社アイムス	ポリウム調整キットM1900を使用した症例報告
15:00-16:10	一般演題発表⑥	門根 秀樹 (筑波大学)	1	河島 則天	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	車いすフェンシング選手の体幹機能を補助するコルセット型サポーターの試作・評価
			2	景行 崇文	ハイパフォーマンススポーツセンター/国立スポーツ科学センター	車いすローラーエルゴメーターを用いた無酸素性パワーテスト中の初期加速局面における速度増加に伴う上肢動作の変容
			3	櫻井 悠也	日本福祉大学大学院	パラ陸上競技車椅子レーサーにおける座角の変化が駆動パフォーマンスに及ぼす影響
			4	村上 卓也	東京大学大学院総合文化研究科	車いすテニスにおけるサーブ動作の運動制御
			5	秤谷 名鷹	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	パラ陸上座位投擲選手に対する科学的支援-競技動作と脳構造の縦断的な変化について-
			6	相馬 裕一郎	筑波大学医学医療系整形外科	車いすパドミントン選手における運動課題別の四肢体幹加速度および筋活動の力学的解析
			7	小林 麗	日本体育大学	一側下腿義足競技者の股関節回旋運動時における動的姿勢制御力の検討-陸上競技-